

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

|   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| ( 宛 先 ) 京 都 府 知 事                                     | 平成28年 7月 25日                          |
| 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)<br>大阪市中央区久太郎町2-4-31 クラボウ本社ビル4F | 氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)<br>取締役社長 小谷 一美 |

|  |  |
|--|--|
| 環境マネジメントシステムの名称                        | 環境目標(独自のシステム)  |
| 適用範囲                                   | 宇治工場、水戸工場、大阪本社、東京支店  |
| 導入年月日                                  | 2006年 8月 11日   |
| 認証番号                                   | -  |
| 基本方針                                   | <ol style="list-style-type: none"> <li>環境関連法規、規則等の遵守 <ul style="list-style-type: none"> <li>自主管理基準を設定し環境保全活動を推進する</li> </ul> </li> <li>環境負荷の低減 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品の開発に努める</li> <li>省資源、省エネルギーを推進する</li> <li>廃棄物の抑制、減量化、再資源化に努める</li> </ul> </li> <li>地域環境との共生 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会の環境保全活動に積極的に参加する</li> <li>地域社会への情報開示に努める</li> </ul> </li> </ol>  |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。) | <ol style="list-style-type: none"> <li>CO2排出量の削減 <ol style="list-style-type: none"> <li>①絶対量:2012年度比生産量増加に対し排出量の増加をマックス3%に抑える。</li> <li>②原単位:2012年度比7%の削減(※ただし電力係数は2012年度を適用に一定とする)。</li> </ol> </li> <li>ゼロエミッションの維持・達成 <ol style="list-style-type: none"> <li>①宇治工場:再資源化率99%以上の維持</li> <li>②水戸工場:2012年度比5%の向上</li> </ol> </li> <li>廃棄物削減及び再資源化への取り組み</li> </ol>  |
| 目標を達成するための取組の内容                        | <ol style="list-style-type: none"> <li>インバーターの設置</li> <li>ボイラー燃料使用量削減装置の運用</li> <li>高効率機器の積極的導入</li> <li>省エネパトロールの実施</li> <li>照明のLED化及び間引き</li> <li>企業とのプロジェクト化(省エネに特化)</li> <li>グリーン製品の購入推進及びゴミ分別廃棄の徹底</li> <li>裏面紙使用、ペーパーレス化及びリサイクル化、再資源化の推進と対象品目の拡大</li> <li>冷暖房、照明、OA機器の適正使用</li> </ol>  |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                      | <ol style="list-style-type: none"> <li>除湿機全台及び井戸揚水ポンプにインバーター設置済</li> <li>ボイラー燃料使用量削減装置、1工場に運用(これにて宇治工場全社運用済)</li> <li>空調機2台、トランス1台、ホツプ5台、プロ71台の高効率タイプへ更新</li> <li>毎月省エネパトロールを実施、各種改善や現場への指導を行う</li> <li>照明のLED化推進、約200灯の更新実施</li> <li>乾燥機の冷凍機について提案を頂く。前向きに検討を実施</li> <li>全社にてグリーン製品購入を推進、分別用ダストボックスの活用を実施</li> <li>裏面紙使用の周知徹底(裏面紙用ボックスの設置)、会議のTV化及びプロジェクター利用、一般ごみについて再資源化の拡大をし9%向上に成功(水戸工場)</li> <li>休憩時間の電気消灯の徹底、外出及び帰宅時のパソコン電源オフの徹底、声掛けの実施</li> </ol> |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価            | 全て計画通りに取り組むことが出来ている。   |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                        | 関連法規の遵守状況については1年に1回確認を行っており、これまで問題も無い。   |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                | 評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回検討している。この中で平成26年度より原単位の指標の分母を乾燥機チャージ数から生産重量へ変更した。これは工場全体の指標として生産重量の方が、より適切であると判断したためである。   |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。